

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 279 2025.7.3

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会

企画展「波佐まるごとミュージアム展」

—社会科学習で来館 波佐小学校—

令和7年度の企画展「波佐まるごとミュージアム展」は、金城資料館2館を中心とした半径1Km内に位置する文化財・観光施設を歴史的観点から解説し、現在開催中です。

7月3日(木)、波佐小学校5・6年生が、社会科学習で金城歴史民俗資料館へ来館され、波佐地区内の長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡、城ノ前遺跡、榎ヶ曽根遺跡、千年比丘1号墳などから出土した石器(石斧・矢じり・スクレーパー・凹石・叩き石・石推)、縄文土器、弥生土器・砥石など3,500年前に使用されていた土器類を手に取り観察して、縄文土器の縄目模様に興味を持ち、教科書で見ただけでは、実際の大きさが判りにくく、矢じり等は考えていた大きさより、実物は小さかったと感想を述べてくれました。※ 下部の写真は波佐小学校児童の皆さん。



今回の企画展では、天然記念物「常磐の大杉」5株は、島根県指定で、日本老樹銘木にもなっています。神殿の裏山全体が、みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」に指定されており、林内は、遊歩道が設置されています。史跡・波佐一本松城は、水堀施設のある唯一の連郭式城郭です。城郭立体図も併せて展示しております。千年比丘一号墳は、4世紀前半の石見地方最古の古墳で、埋納されていた弥生期の砥石も展示しています。史跡・長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡は、縄文時代晩期から継続した3,500年前からの遺跡です。各時代の出土品も公開展示しています。

なお、室町時代の甲冑『黒韋威胴丸』(残欠)も7月1日より展示ケースにて公開展示しております。

今年も文化財施設の清掃奉仕デー実施

今年も、金城資料館を中心に館庭や館外周辺の国道・県道沿いの歩道などの草刈り清掃作業を実施しました。すっきりとした環境でお客様をお迎えいたします。



民俗館から見た歴史館



奉仕作業への参加者



歴史館から見た民俗館